



## NOTEBOOKS

白夜

君の名前  
書いてある  
なっている  
ページに  
そこだけ  
セピア色に

水源 純

もらつたノートは  
白いまま  
書くべきことも  
みつけられず  
時だけが走つてく

あなたに貸した  
ノートの端に  
見えない  
何度も書いていたよ  
すきを

素音

南野薔子

あの子の  
ノートに  
憧れた  
端正な数式の横に  
夢見がちならくがき